



生物多様性センター ホームページのアクセス解析について



環境省自然環境局生物多様性センター 情報システム科

生物多様性センターのホームページ (<http://www.biodic.go.jp>、以下、生物多様性センターHP)は、

- 自然環境調査の成果を情報発信・情報提供することを大きな目的
 - 毎年5000万ページビューものアクセスを記録するサイト。
- 2016年2月に全面改装、サブシステム間で異なっていたユーザインターフェースやデザインを統一、更に自然環境調査Web-GISを導入、情報提供の機能を強化。
生物多様性センターHPが皆様にご覧頂いているかを解析、今後のより良い情報提供に繋げていく。

【解析の概略】

アクセス集計期間：平成28年2月1日～平成28年8月6日までの生物多様性HPへのアクセスを集計(集計期間中の4サブシステムへのアクセス総計は1,312,387セッション*)。

アクセス集計方法：Google Analyticsを使用。
解析概要：期間中のアクセス記録から、閲覧したユーザのプロフィール、閲覧中の行動について集計した。

*サブシステム内ではアクセスの刷新を訪問回数(セッション)で整理しており、閲覧ページ数(ページビュー)は採用していません。

【インターネット自然研究所(IT-LAB)】(右)

- 尾瀬や屋久島など国立公園等設置の定点カメラからの画像配信サイト。
- 現地の自然環境、そこに棲む生きものたちの様子を伝える。
- 過去の撮影画像も検索が可能。



【生物情報 収集・提供システム いきものログ(IKI-LOG)】(左)

- 様々な団体や個人が調査・観察した生物情報を集約・管理・提供するシステム。
- 調査団体を支援する機能も搭載しています。

【生物多様性情報システム(J-IBIS)】(下)

- 生物多様性センターが実施の自然環境保全基礎調査、モニタリングサイト1000などの調査概要や結果、報告書を情報提供。



【自然環境調査Web-GIS】

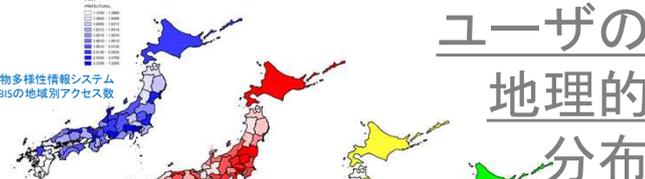
- 新たに2016年2月から稼働開始。
- 生物多様性センター作成の植生図、その他調査結果を地図上で表示する地理情報システム(Web-GIS)です。
- GISデータのダウンロードも可能です。



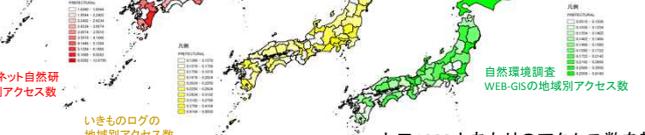
アクセスの趨勢



期間中の4システムへのアクセス総数の推移。GW近辺で下がるもののほぼ順調に移行。平日で上がり土日で下がる週単位の変動が、インターネット自然研究所以外の他システムで見られるが、当該システムでは見られず、ビジネス外利用であることをうかがわせる。



ユーザの地理的分布



人口1000人あたりのアクセス数を都道府県単位でまとめた。総じて東京を中心とした南関東・北海道・長野県周辺・近畿地方からのアクセスが目立っている。左は市町ごとのアクセス上位20市町。比較的大きな市の名前が並んでいる。

系統	市町	セッション	系統	市町	セッション
J-IBIS	東京都	39,889	IT-LAB	東京都	82,032
	東京都	32,084		東京都	3,023
	千葉県	23,927		千葉県	51,241
	千葉県	21,214		千葉県	4,689
	東京都	17,260		東京都	32,746
	東京都	16,480		東京都	1,554
	東京都	10,970		東京都	24,879
	東京都	9,534		東京都	15,534
	東京都	7,542		東京都	13,651
	東京都	5,812		東京都	11,589
	東京都	5,506		東京都	11,038
	東京都	5,340		東京都	10,139
	東京都	4,878		東京都	10,104
	東京都	4,489		東京都	9,598
	東京都	4,438		東京都	8,394
	東京都	3,906		東京都	7,394
	東京都	3,784		東京都	7,144
	東京都	3,465		東京都	7,093
	東京都	3,393		東京都	6,993

利用の時間帯

- 右上グラフは一日の時間帯別アクセス数の変化。
- インターネット自然研究所(IT-LAB)のみ以下の傾向：
早朝6時～7時頃からアクセス急増、
昼食時間帯にアクセス減らず
夕方17時～18時にアクセス数が急減。
- (右下グラフでは総数を同じに設定：)
- 生物多様性情報システムJ-IBIS、いきものログIKI-LOG、
自然環境調査Web-GISでは一様に反対の傾向：
アクセス数が伸びるのは午前9時前後
12時～13時にアクセス数が顕著に減少
午後後に盛り返すもの夕方18時～19時に急減。
- 上記「アクセスの趨勢」もあわせ、以下を導出：
インターネット自然研究所を除く3サブシステムは、アクセスが平日ビジネスタイム(9時～12時、13時～18時)に集中、
学校・職場からのアクセスが多いのに対し、当該システムは
家庭・コミュニティ関係の活用が多い可能性が高い。

No.	キーワード	セッション	系統	キーワード	セッション	
1	194,120	08.41%	不明	42,291	0.41%	IT-LAB
2	47,777	18.11%	不明	19,014	18.11%	インターネット自然研究所
3	14,666	5.5%	生物多様性センター	5,945	5.5%	自然環境調査Web-GIS
4	3,179	1.2%	生物多様性センター	3,282	3.1%	不明
5	2,716	1.0%	自然環境調査Web-GIS	2,703	2.6%	不明
6	2,241	0.9%	不明	2,400	2.3%	不明
7	2,222	0.9%	不明	2,229	2.1%	不明
8	2,164	0.8%	不明	2,056	1.9%	不明
9	1,286	0.5%	自然環境調査Web-GIS	1,814	1.7%	不明
10	1,243	0.5%	不明	1,699	1.6%	不明
11	759	0.3%	不明	1,561	1.4%	不明
12	714	0.2%	不明	1,101	1.0%	不明
13	646	0.2%	不明	946	0.9%	不明
14	250	0.1%	不明	845	0.8%	不明
15	238	0.1%	不明	771	0.7%	不明
16	302	0.1%	不明	546	0.5%	不明
17	310	0.1%	不明	530	0.5%	不明
18	310	0.1%	不明	512	0.4%	不明
19	275	0.1%	不明	472	0.4%	不明
20	259	0.1%	不明	440	0.4%	不明

検索エンジンとそのキーワード



結論まとめ

- ユーザの分布には地域的な差がある。
- 利用の時間帯変化から「インターネット自然研究所」(ライブ画像配信)だけが非ビジネス利用
- 検索サイトからのキーワードは、話題、地名、生物種、概念でのネット利用を示唆する可能性がある。

8月以降を含めたアクセス推移(J-IBIS)

